



EXHIBITION INFORMATION

Automotive Engineering Exposition
人とくるまのテクノロジー展
NAGOYA 2023

7/5 WED 10:00-18:00 6 THU 10:00-18:00 7 FRI 10:00-17:00
Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) 事前登録制 ▶
ONLINE STAGE 2 6/28(水)~7/19(水) 2023年 6月6日(火)~
本誌に記載の開催時間・企画等は変更となる場合がございます。最新情報は公式ウェブサイトをご確認ください。 JSAE

変わる。NAGOYA

NAGOYAは、新企画・新エリア・新会場で開催!

Aichi Sky Expo

展示ホール総面積 20,000㎡
出展予定小間数 600小間以上
出展予定社数 250社以上

新企画

JSAE主催
自動運転AIチャレンジ企画や
新技術搭載車両展示など
NAGOYAだけの新企画を実施!

新エリア

スタートアップ企業・
大学等の研究機関専門の
展示エリアを新設。

新会場

陸・海・空すべてをつなぐ玄関口
中部国際空港 セントレア直結
Aichi Sky Expo

その先のテクノロジーが見える、国内最大級の自動車技術展

ご来場までの流れ

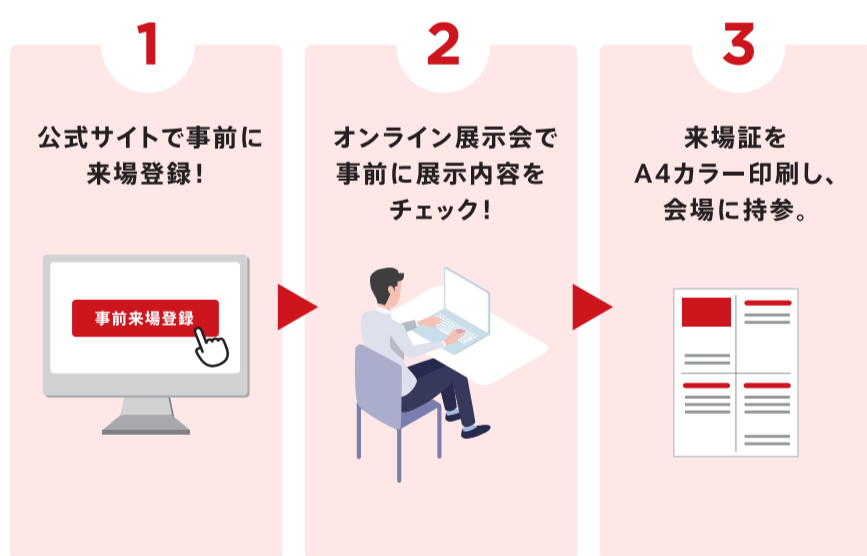
ご来場前に、必ず事前登録をお済ませください。
当日登録の受付はございません。
下記「QRコード」または「URL」から事前登録を行ってください。

事前登録はこちら▶



https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/

※本展示会は、完全事前来場登録制(入場無料)となっております。



「人とくるまのテクノロジー展 2023 NAGOYA」は、
Aichi Sky Expo と WEBサイトでハイブリッド開催いたします。
(愛知県国際展示場)

	28	29	30	7/1	2	3	4	7/5 WED	6 THU	7 FRI	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
名古屋展示会																							
オンライン展示会																							

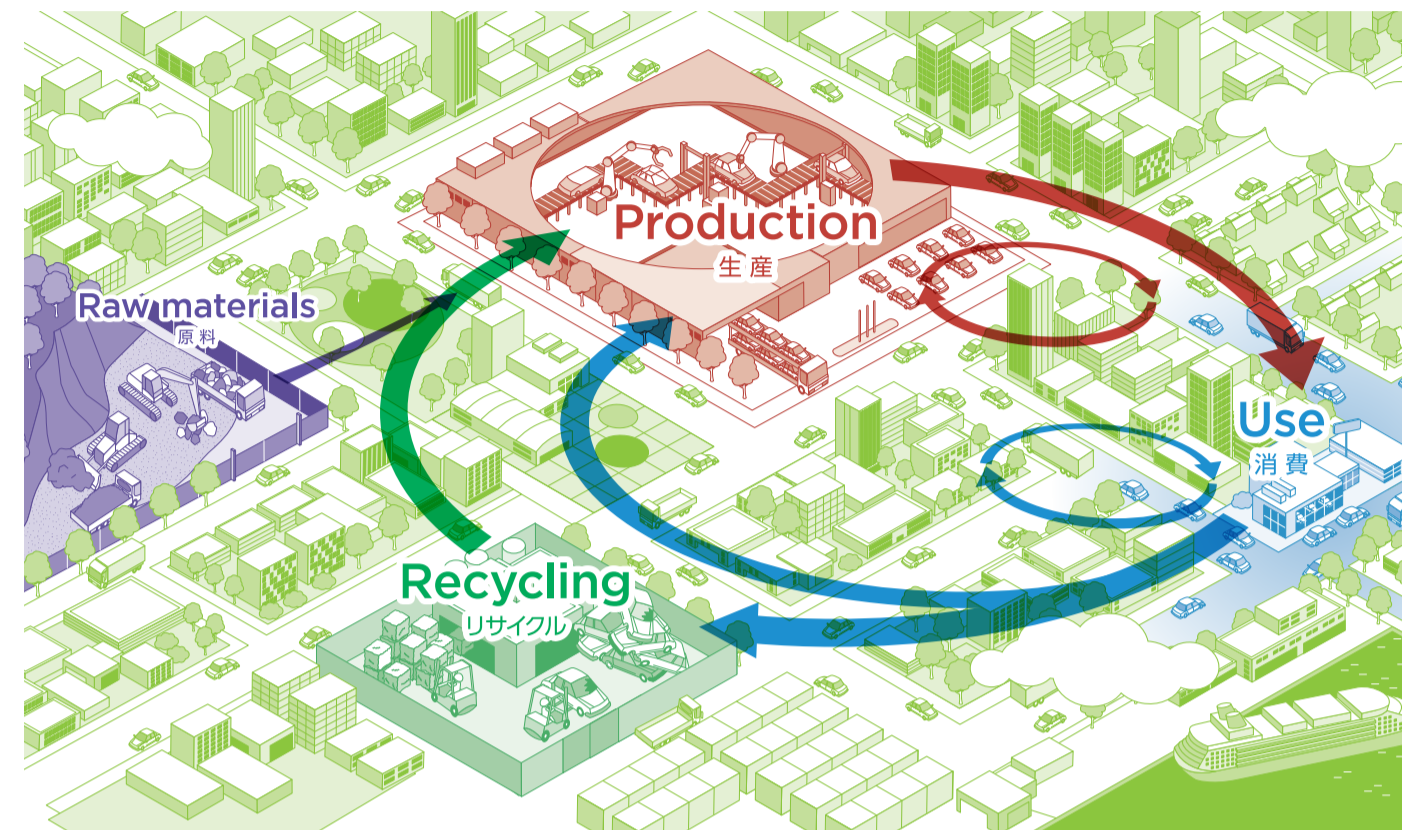
JSAE企画展示 NAGOYA ONLINE STAGE 2

英知を集結しよう! カーボンニュートラル、その先の循環型社会へ

脱炭素化・サステナビリティの潮流が世界的に加速する中、日本をはじめ多くの国・地域が2050年のカーボンニュートラルを目指し、対応を進めています。地球規模の難題を乗り越え、持続可能な社会にしていけるためには「共創」と「循環」がカギであると考えています。裾野が広く、与える影響も大きい自動車産業において、カーボンニュートラルを実現していくためには、「くるま」のライフサイクル全体で脱炭素に向けた取り組みが欠かせません。この取り組みに対しては、これまでのような「資源の採掘～製造～廃棄」というリニア型から、3R「リデュース・リユース・リサイクル」に代表される「循環」型の社会システムへ転換していくことが求められています。時代の転換点とはいえ、価値観を変えていくことは並大抵ではありません。だからこそ、今まで当たり前だと思っていたことを疑い、新しい視点で物事を捉え、新しい仲間と「共創」してチャレンジすることが重要であると考えています。「人と地球を幸せにする技術とはなにか」を問い、新しい価値を共創していくためにバリューチェーンを生み出す。「くるま」に携わる全ての皆さまの英知を集結する「場」として、「人とくるまのテクノロジー展2023」にお集まり頂ければ幸いです。

循環型社会実現に向け、「知恵・技・匠」で新たなバリューチェーンを生み出そう!

名古屋では、これまでのリニア型社会から、循環型社会の実現に向け、自動車産業のバリューチェーンの新たな広がりを紹介します。「循環」をキーワードに、資源に対する技術や他産業における循環スキーム、鉄のリサイクルや樹脂のケミカル再生技術、更にはカーボンリサイクル技術の展示、生産現場における資源の再利用技術も展示しています。循環型社会の実現に向けて「知恵・技・匠」で皆さんと一緒に考える「場」の1つです。



展示協力企業・団体 (五十音記載)
エア・ウォーター株式会社 / AGC株式会社 / 株式会社SUBARU / 大日本印刷株式会社 / 株式会社デンソー / トヨタ自動車株式会社 / 豊田通商株式会社 / 豊田メタル株式会社 / 日産ホールディングス株式会社 / 日産自動車株式会社 / 日本製鉄株式会社 / 株式会社本田技術研究所 / マツダ株式会社 / 三菱自動車工業株式会社 / 三菱商事株式会社 / 三菱商事エンジニアソリューションズ株式会社 / MIRAI-LABO株式会社 / 株式会社レゾナック

JSAE企画講演 NAGOYA ONLINE STAGE 2

会議室 L3+L4 (定員:約300名)

テーマに沿った講演を 展示会場とオンラインのハイブリッドでお届けします。

7/5 WED 11:00~12:00 自動車リサイクルの脱炭素化に向けた検討について 令和3年7月の「自動車リサイクル制度の施行状況の評価・検討に関する報告書」を踏まえ、環境省として進めている自動車リサイクルのカーボンニュートラルに向けた排出実態の把握や対策検討調査の内容を紹介します。 環境省 環境再生・資源循環局 総務課リサイクル推進室 室長補佐 福井 陽一 氏	7/7 FRI 11:00~12:00 鉄鋼材料等の基盤材料のLCAの動向と課題 自動車を構成する基盤材料を選択する際に、どの素材が最も環境負荷が小さいかを評価する手段としてLCAが注目を集めています。しかし素材は製品単位と異なり、繰り返しリサイクルすることで環境負荷が大幅に軽減されるため、リサイクルを考慮したLCAの分析手法が必要ですが、研究途上のテーマです。講演内で最新の動向を解説します。 東京大学 大学院 工学系研究科 マテリアル工学専攻 特任教授 工学博士 星野 岳穂 氏
---	---

JSAE中部支部企画講演 NAGOYA ONLINE STAGE 2

会議室 L3+L4 (定員:約300名)

JSAE中部支部による企画講演です。

7/5 WED 13:30~14:30 三菱重工グループのカーボンニュートラル宣言「MISSION NET ZERO」実現に向けた取組 三菱重工グループは、カーボンニュートラル宣言「MISSION NET ZERO」を2021年10月に発表し、その実現に向けてカーボンニュートラル経営システムの構築を進めています。実効性の高い経営システムを構築するには実践を通じたリアルな実態の把握が必要と考えており、自社工場である三原製作所(広島県三原市)のカーボンニュートラル化に取り組んでいます。工場カーボンニュートラル化で得た知見と共に、MISSION NET ZEROの進捗について報告します。 三菱重工業株式会社 カーボンニュートラル推進室 室長 森原 雅幸 氏	7/5 WED 16:00~17:00 車載用パワーエレクトロニクスの技術動向と高性能化へ向けた応用事例 モビリティの電動化に向けて重要技術であるパワーエレクトロニクスの最新技術動向を解説する。また高性能化へ向けて半導体・磁気・回路の各種領域からの高付加価値を生むための要素技術についても解説します。 名古屋大学 未来材料・システム研究所 准教授 今岡 淳 氏
--	---

自動運転AIチャレンジ企画 NAGOYA ONLINE STAGE 2

会議室 L3+L4 (定員:約300名)

【講演】自動運転AIチャレンジに関する講演企画です。 【ワークショップ】モデレーターによる解説と、関係者によるパネルディスカッションを実施します。

7/6 THU 11:00~12:00 自動運転の現状と自動運転AIチャレンジへの期待 自動運転ブームのきっかけは、DARPA Urban Challengeであり、認識技術の性能向上はKITTIなどのデータセットに支えられています。技術開発にも人材育成にも益々重要になるチャレンジの枠組みについて今後の展望を示します。 名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 特任教授 二宮 芳樹 氏	7/6 THU 14:00~16:00 (予定) 自動車技術会が目指すソフトウェア人材の育成の方向性と展望 自動車技術会(JSAE)はソフトウェア人材の発掘と育成を目的に2019年より自動運転AIチャレンジを実施しています。本講演ではモデレーターとして河口信夫氏をお招きし、自動運転AIチャレンジで用いられるソフトウェアAutawareの現状と多様な移動イノベーション「超学際」での取り組みをご紹介します。また自動運転AIチャレンジ出場関係者によるパネルディスカッションも実施予定です。 モデレーター 名古屋大学 未来社会創造機構 教授 河口 信夫 氏
--	---

オンライン配信限定 技術開発特別講演 開発にかけた熱意、思い入れを語っていただく特別講演企画です。

7/7 FRI 14:00~15:30 (予定)
MAZDA CX-60の開発
CX-60は、抜群の商品力とさらなる環境負荷低減を実現するLarge商品群の最初のモデルです。独自のアプローチにこだわり、高い環境性能と安全性能を兼ね備えながらマツダブランドの醍醐味である「走る喜び」を磨き上げました。マツダならではの技術について、各開発リーダーが秘話を交えながら紹介します。

1. マツダの戦略とCX-60の特徴	商品開発本部 主査 柴田 浩平 氏
2. プラットフォーム開発	車両開発本部 操安性能開発部 首席エンジニア 虫谷 泰典 氏
3. エンジン開発	パワートレイン開発本部 主査 富澤 和廣 氏
4. 電動化、トランスミッション開発	パワートレイン開発本部 主査 土井 淳一 氏
5. 混流生産技術	技術本部 車両技術部 車両組立技術グループ 主幹 岡村 直道 氏

マツダ株式会社 商品開発本部 主査 柴田 浩平 氏 他

新たな会場となるNAGOYAの新企画です。最新の乗用車、大型トラック、二輪車を一堂に会した展示から、実車に触れながら最新技術を学んでみませんか。



HONDA ZR-V e:HEV



MAZDA CX-60 Biofuel



NISSAN X-TRAIL



TOYOTA PRIUS



HINO DUTRO Z EV



HONDA EM1 e:



ISUZU GIGA



HINO Fuel cell electric heavy-duty truck

自動運転AIチャレンジ企画展示 NAGOYA

展示ホール内

JSAEが主催の人材育成事業である自動運転AIチャレンジをテーマとした企画です。自動運転に関わる展示とデモを実施し、ソフトウェア人材と自動車業界の交流の場となることを目指します。



企画協力:名古屋大学(TMI) / アイサンテクノロジー株式会社

〈自動運転AIチャレンジとは〉

CASE、MaaSと呼ばれる新技術領域に活躍するソフトウェア人材の発掘・育成の取り組みとして、シミュレーション大会とインテグレーション大会を年1回ずつ実施しております。



▲2022年インテグレーション大会の様子

7/6 JSAE中部支部研究発表会 NAGOYA

JSAE中部支部所属の技術者を中心とした研究発表会です。

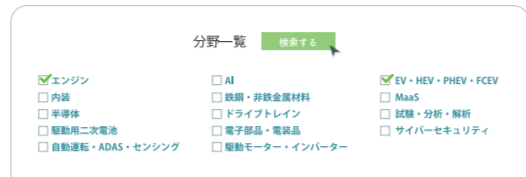
Table with 10 rows and 4 columns: Session number, Time, Topic, and Presenters. Topics include '要素技術①', 'シャシ・ボデー/フリー', '要素技術②', '要素技術③'.

オンライン展示会活用のススメ

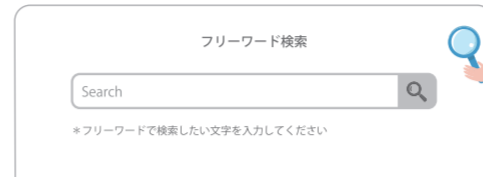
1 気になる「技術」・「製品」を検索！

オンライン展示会サイト内で…

▶ 分野別検索

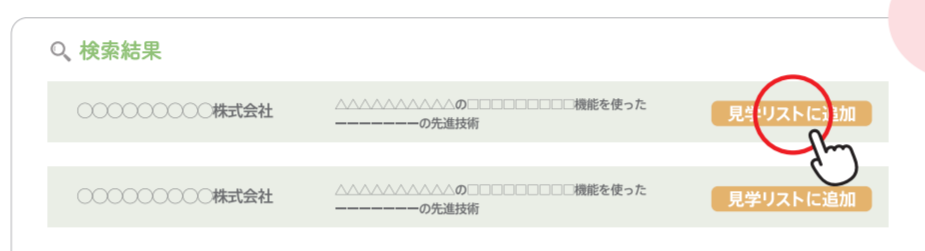


▶ フリーワード検索



2 検索結果から見学リストを作成

▶ 検索結果から「1click」で見学リストへ追加

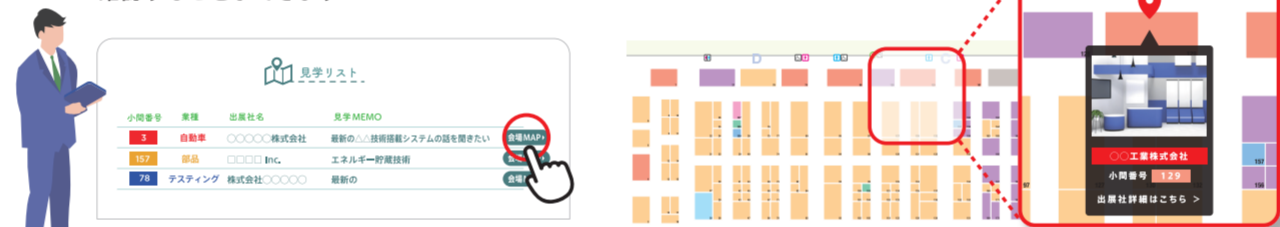


訪問したいブースの技術・製品情報を事前にCHECK!

3 見学リストがデジタルMAPに自動反映

▶ 現地で…

リストに追加した展示ブース位置をスマートフォン・タブレットから確認することができます



▶ ブース訪問後…

見学MEMOにコメントを入力し、社内報告書などの作成にも活用可◎

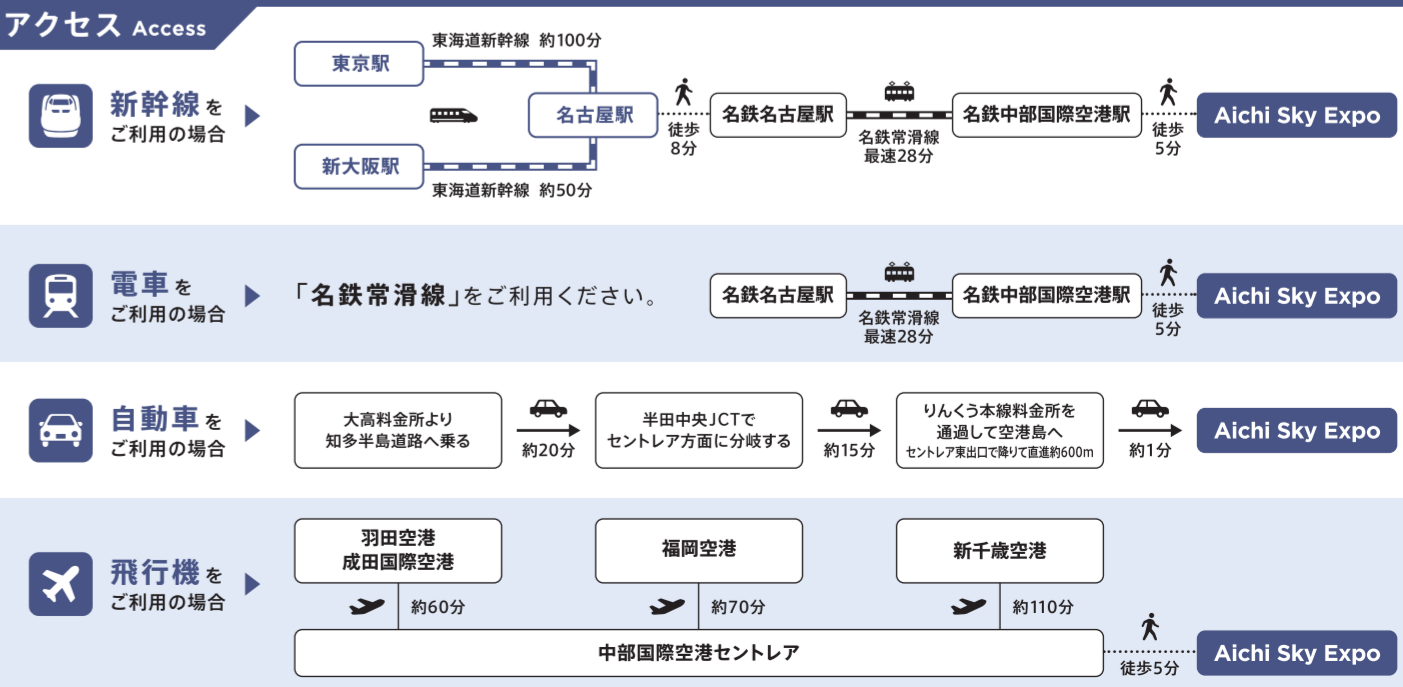


Online exhibition deep dive box with icons for '電車' (train), '会社' (company), and '自宅' (home), and text: '会期中いつでも、見る・知る・調べることが可能!'

Table listing exhibitors for NAGOYA ONLINE STAGE 2, including companies like 株式会社アライ, 株式会社アール, etc.

スタートアップ・アカデミア出展社 NAGOYA ONLINE STAGE 2

Startup Academy exhibitors box with text: 'まだ見ぬ技術・発想・出合いがここにある!' and '未来を担うスタートアップ企業や、研究成果の社会実装を目指す大学・教育機関による展示が展開されます。'



※五十音順掲載 2023年4月3日(日)現在 (共同出展社は含んでおりません)